

ふるさと歴史アラカルト

江戸時代の国外情報

現在の私たちの生活では、遠く離れた外国で起きた出来事も、インターネットやテレビなどからすぐに情報を得ることができます。一方、江戸時代の日本では、情報は主に文面や口頭で直接伝えられました。そのような社会において、人々は外国に関する情報にどのように接したのでしょうか。

江戸時代の日本では、外国と交流できる地域は限られ、中でも中国とオランダに開かれた長崎は、国外情報の集積地となり、西洋の知識を学ぶにも最適な土地でした。そういった知識はしばしば日本語に翻訳され、書籍として国内で発行されて広く読まれました。

また外国との公式な接触場所の他、来日した外国人や外国に漂流した日本人から得た情報が広く知られることもあり、即時的とはいかないまでも、人々は外国に関する情報を得ていました。こうした情報摂取の在り方を一変させるのが、ペリー艦隊の来航に代表される江戸時代末期の外国勢力の到来です。諸外国の様子や困惑する国内状況

を目の当たりにする中で、直接的な危機として外国への関心が高まり、情報を得る動きが積極化します。岩国でも、宿場にいた人が他藩の飛脚から得た、ペリー提督率いる黒船艦隊が事前に通知されていた日を迎えても帰国しないという情報を、急いで岩国政府に知らせた際の文書が残っています。また江戸に駐留していた岩国の役人は、薩摩藩が西洋式の軍艦を建造したという情報を聞きつけ見学に行き、実際に見た軍艦の様子を岩国まで図を付して子細に報告しています。諸外国の勢力を実感する時勢になると、情報の速さと正確性が求められていきました。

明治時代を迎えるころには、外国から得た技術により電気通信が日本でも発展し、距離のある場所でも素早く情報を伝えることが可能になります。今も昔も離れた場所の最新情報を得たいという欲求は変わらず、その欲求と社会的な必要性に動かされて技術が発達し、現在の情報伝達へと発展していったのかもしれない。

いわくにちようこかん 岩国徴古館

昭和20年に旧岩国藩主吉川家によって建てられ、その後岩国市に移管された市立の博物館
住所：横山二丁目7-19 ☎(41)0452
休館日：月曜（祝日の場合はその翌日）

12月20日(日)まで企画展
「近世岩国のメディア」
を開催しています。



写真…岩国の在江戸役人が描いた薩摩藩の西洋式軍艦

岩国市 人口・世帯

人口 132,273人【前月比 -70人】 男性 62,871人 女性 69,402人

世帯 65,635世帯【前月比 +7世帯】 ※外国人人口を含む(2020年11月1日現在)

交通事故発生件数

10月分事故件数 24件(181件) 死者数 0人(3人) 傷者数 29人(222人)

※高速道路発生分を除く。()内は2020年累計

目の不自由な人へ

「広報いわくに」のカセットテープをお貸しします。
お問い合わせは、広報戦略課 ☎(29)5016 FAX(21)3337